

平成28年度 キャリア教育講座

平成28年度第1学年キャリア教育講座を実施しました。たくさんの地元企業、機関にご協力をいただき、多くの生徒の訪問を受け入れていただきました。大変ありがとうございました。

1. 目的 実際の職業見学を通して職業人としての在り方・生き方を学び、高校生としての職業観を身につける。また、その職業に至るまでのプロセスを理解する。

2. 日時 平成28年7月19日（火）

3. 訪問先一覧

| | 訪問先 | 内容 |
|----|--------------------------|---|
| 1 | 伊藤・野条法律事務所 | ・弁護士としての仕事内容説明 ・資格取得について ・高校時代に身につけたいこと |
| 2 | 福井地方裁判所 | ・裁判官、調査官についての説明 ・法廷見学（傍聴、模擬裁判） |
| 3 | 福井新聞社 | ・新聞記者に求められること ・国際的な情報と地元情報の整合 ・紙面作りについて |
| 4 | 福井銀行センタービル （日本銀行福井支店） | ・施設見学 ・講話 |
| 5 | 福井県立大学 経済学部 | ・経済学が将来どのような職業につながっていくか。 ・経済学を学んだ者として（経験から） |
| 6 | 福井大学大学院 教育学研究室 | ・教職大学院の院生と小グループで語り合う |
| 7 | 福井総合病院 | ・4つのコース（医学・薬学・看護学・理学療法）に分かれての 講習 |
| 8 | | |
| 9 | | |
| 10 | | |
| 11 | 福井大学大学院 工学研究科 | ・研究室見学 |
| 12 | オーディオテクニカフクイ | ・会社説明・ビデオ視聴 ・工場見学 ・講義、質疑応答 ・実習「紙コップスピーカー作り」 |
| 13 | 田中化学研究所 | ・電池に関する講義、電池の分解実験 ・工場見学 ・質疑応答 |

【伊藤・野条法律事務所】



以前から法律関係のお仕事に興味があって、インターネットや本などで調べたことはありましたが、実際に働かれている弁護士さんのお話を伺って、新しく知ることがたくさんありました。一番思ったのは、この職業は自由であるということです。誰にも縛られることなく、自らの正義感や価値観、そして法律の下で働けるのは、とても魅力的だなと思いました。自分に自信をもっていることが必要不可欠だけれども、そのための努力だったり、経験だったり積まれてきているのだろうなという垣間見えた気がしました。弁護士は隣接士業、たとえば司法書士、行政書士、弁理士、税理士などのやるお仕事もできるいわゆるオールマイティ的存在であるという言葉を書き、より一層憧れが増しました。弁護士になるまでが、かなり大変な職業だけれども、そのあとには、充実した未来が待っているのだと分かって、もっとこの職業について自分でも調べてみたくなりました。

【福井地方裁判所】

裁判所の前をいつも登下校で通っていて興味があったので、今日は中に入り、いろいろなお話を聞くことができ、とても貴重な体験をさせていただきました。お話を聞いて、1つの裁判を行うのに多くの人に関わっていることを知りました。それぞれがやりがいを見つけて人のために働いている姿が素敵だなと思いました。模擬裁判では裁判の流れを知ることが出来て良かったです。シナリオがなくてもあのような対話をしていると思うとすごいです。いつか見に行ってみたいと思います。また話を聞くときはその物事に興味や関心を持っておっしゃっていたので今後の勉強などに活かしたいと思いました。

僕が裁判所に行き、一番興味を持ったのは裁判官の仕事です。理由は裁判官の人が僕たちのために裁判官について教えて下さったからです。教えて下さった話の中で驚いたことがありました。それは裁判官になる人は年に100人前後であるのに対して弁護士になる人は年に1000人以上いることです。また平成27年度に裁判官になった女性の人数は28人で28人という数字はとても多いと言っていました。このことから僕はまだ裁判官という仕事は男性がするという考えをもったひとが多いのではないかと思いました。話の中ですごいと思ったこともありました。それは裁判官の仕事は国家権力を伴っているということです。例として財産、土地を強制的に差し押さえることができるということです。国家権力をもつということはとても責任が必要となります。また誤った判決をしてしまえば、人の人生を奪ってしまうかも知れません。その中で日々中立の立場で判決を下す裁判官の人たちはすごいと思いました。今回の裁判所訪問を通して司法の世界に興味を持つことが出来ました。裁判所で働いている人たちのように今を一生懸命頑張ろうと思いました。

【福井新聞社】



新聞社の方々のお話を聞いて、とても驚きました。1枚の新聞を作るために、たくさんの方々の努力と知識が必要だということを初めて知りました。今までは、たかが1枚の新聞くらい…とっていましたが、話を聞いて、その1枚の新聞のために何回もチェックをしたり、内容を変える必要がないかをギリギリまで議論していたりして、とても大変な作業だと思いました。他の人に的確な情報を知ってもらうために、ここまでしているのか!と感激しました。これからは新聞を作ってくださっている方々の思いを大切にするために、毎日少しでも新聞を読むことを心がけていこうと思いました。

新聞社というと、記者とカメラマン、編集者が社員のほとんどで、男性中心のイメージがとても強かったのですが、編集を担当する編集局以外にも、読者局をはじめとする多くの部署があったことに驚きました。また、思っていたよりも女性の社員の方が多かったことも予想外でした。新聞社での仕事は、不規則になりがちで大変そうだなと思いましたが、その分、やりがいがとても大きい仕事ではないかと思いました。新聞社について自分の知らなかったこと、疑問に思っていたことについて教えていただいて、とてもよい見学になりました。

【福井銀行センタービル】

今回のキャリア教育講座を通して、大きく分けて2つのことを学びました。一つは、銀行に対するイメージが変わりました。最初は、銀行はもっと堅苦しく、事務的だという勝手なイメージを持っていましたが、仕事の内容を見たり、仕事のやりがいの話を聞いて、銀行は「人の夢をお手伝いする仕事」であり、お金はそのための方法・手段にすぎず、お金ではなく人と関わる仕事であることがわかりました。そして、藤島高校の人生の大先輩である方からのお話を聞いて、進路は得手不得手ではなく、どれに興味があるかで選んだ方がいいということ、どんなことも自分のためになることを学びました。自分の考え方を見直す良いきっかけになりました。

銀行を利用する人達はとても多く、様々な価値観を持っているので、様々な経験を積むことで、お客様と分かり合えるということがわかりました。また、銀行員になる人は、経済学部などの文系の人だけではなく、近年理系の人も増えてきているということがわかりました。先輩の言葉から、私達がまずすべきことは夢や目標を設定することだそうです。そして夢や目標に向かって努力していくことが大切であると教えていただきました。今日のキャリア教育講座の経験をいかして、文理選択や夢や目標の設定を行っていきたいです。

【福井県立大学経済学部】



今回のキャリア教育講座で二つのことを学びました。

一つ目は経済学で学ぶことや得ることができる資格などの、経済学部に入るとどのようなことになるかについて学びました。今回の講座では二社の売上高や資産合計、営業利益の比較などをさせてもらいました。政府や消費者とのつながりを考えることもまた面白そうだと思います。なので、より経済学に興味が湧きました。

二つ目は株式会社についても知ることができました。消費者とのつながり方なども知ることができました。今回の講座で、ためになったことや初めて知ったことが多くあり、とても良い体験になりました。今回習ったことや思ったことをこれからの進路を考えたときの一つの材料として使っていこうと思います。

自分が経済学に触れたい!と思った理由は、最近話題になっている中国市場の急変動やギリシャの財政破綻がもたらす影響について興味をもったからです。主に経済の金銭面なことですが、株や取引の面で関係があると思い、志望しました。

話の内容としては、自分が知りたかった情報と一致しており更に興味が湧きました。特に株について目を向けてみたいと思います。

一分一秒単位で世界が変わっていることはおもしろく、何か不思議な感じがしました。株が変動するきっかけとしては、国際情勢、お金の力関係、さらには天候までも左右すると聞き、大きな世界でも小さな事、局地的なことでも全体が変化すると思うとまさに、ボーダーレス、グローバル化時代の到来を感じました。全てがつながっている。自分は将来その架け橋になれるといいです。

【福井大学大学院 教育学研究室】



大学生の人たちの教育についてのレポートを聞いて、初めて知った事がたくさんありました。また、内容は結構難しく、理解するのが大変だったけれど、質問すると丁寧に優しく教えてくださり、楽しく大学生の人たちのレポートについて考えることができました。

また、教員志望の人たちが多かったため、今まで附属中学校へ授業の見学へ行った体験などたくさん教えて頂けて、貴重な体験ができました。私たちが普段おこなっている研究の授業についても話合っていて「アクティブラーニング」も積極的に取り入れていくべきだと話していたので、これからも研究の授業を大切にしていこうと思いました。今回の体験をこれからの進路意識や様々なことに生かしていこうと思います。

【福井総合病院】



《理学療法》 今日、実際の医療の現場で体験・見学と、本当に貴重な体験をさせて頂きました。その中で一番印象に残ったのが理学療法士の方のコミュニケーション力の高さです。どの理学療法士の方も患者さんと一対一で、笑顔で話しながらリハビリをされていて、リハビリ室全体がすごく和やかな雰囲気になっていました。理学療法士の方のコミュニケーション力の高さによって、患者さんも安心してリハビリに臨めるのだということを感じました。また、患者さんとの話の中で、足が痛いといった急に言われたことにもしっかり対応していて、その対応力と柔軟性に驚きました。僕も今のところ理学療法士を目指しているので、今日実際に見学させて頂き、また理学療法士の方からたくさん話をきくことができ、本当に貴重な経験となりました。僕は人と話すのが得意ではないので、これからは勉強だけでなく、コミュニケーション力も身につけられるよう日々努力して、理学療法士になれるよう頑張っていきたいです。

《医学》 今回病院を見学して、今までは医師が手術しているイメージが強かったのですが、他の検査技師や薬剤師、理学療法士などさまざまな人たちがいるからこそ、病院が成り立っていることを実感しました。病気を診断し、治すだけでなく、治癒したあとのこともしっかりと考え、患者さんが安心して生きていけるように努力していることも知りました。また、技術も進歩していて、最新技術があるからこそ今の医療があるのだとわかりました。私も将来、人を助けられるような仕事に就き、少しでも社会に貢献できるよう、また、人の役に立てるようがんばろうと思いました。

《薬学》 私は、今回の体験を通して、薬剤師という職業により興味を持ちました。治験について学んだり、処方箋を見たり、薬を調剤してみたりして、曖昧にしか知らなかった薬剤師の仕事をしっかり知ることができました。薬は、患者さんに渡るまでに、何人もの人が衛生に注意して調剤し、チェックしていることがわかりました。機械がいろいろな作業を行っても、最終的には人の目がチェックすることが大切だなと思いました。薬ひとつでも、命の危険に関わるがあるので、責任のある仕事だと思ったけれど、逆にその薬で救われることも多いと思うので、私も頑張っ勉強して、薬剤師になって、人の役に立ちたいです。

【福井大学大学院工学研究科】

今回のキャリア教育講座で印象深かったことは、企業の研究員と大学教授の違いです。企業では利益を最優先するために研究活動が規制されることがわかりました。しかし大学では、資金の問題はあるけれど研究に関しては自由なため、自分の研究に専念できることが可能であるとわかりました。研究室内では、学生に1 つデスクが与えられ、高度で高価な機械を利用して実験・研究しており、とても興味を持ちました。

大学では自分がやりたい研究ができるので楽しそうだなと思った。海外の大学や企業などとの連携事業も多く、英語力やコミュニケーション能力は欠かせないだろう。高校で基礎学力を身につけておくべきだという考えは私も同じで、自分の興味がある、好きな科目以外も頑張ろうと思う。研究室には様々な機会や薬品が置いてあり、とても興味深かった。

【オーディオテクニカフクイ】



自分もオーディオテクニカのイヤホンを持っていたので、とても楽しみにして来て、歴史やとてもおもしろいようなギャグを交えていただき、とても楽しい時間を過ごしながらも、オーディオについてやこの会社の良さについて知ることができたので良かったです。3センチマイクを小さくするためにとても時間をかけて、でもその苦勞をした分、一人でも多くの客に喜んでもらえるのだと思いました。自分も将来社会に出て仕事をするようになるときには、今回のこの経験を生かして、一人でも多くの人を笑顔にできるようにしていきたいと思いました。

オーディオテクニカに来るまでは、私の中ではヘッドフォンとかイヤホンで有名な企業だなという意識しかありませんでしたが、いろいろな話を聞いて、とてもおもしろいことが学べました。特に一番驚いたのは、オリンピックで多くのマイクが使われていたことです。バレーのネットにもマイクが設置されているなんて、全く知りませんでした。その他にも、カラオケをさせていただいたり、たくさんのスピーカーで立体的な音を聞かせていただいたりして、あまりできない貴重な経験ができて楽しかったです。将来、何か物作りに関わってみたいです。

【田中化学研究所】



今回田中化学研究所へ行き、製品を作るには数多くの段階を踏まなければならないことや、少しでも不備があると返品されてしまうことを知り、非常に大変であり、繊細な仕事なんだという印象を受けました。電池の分解では、電池の内部構造を知ったり、実際に自分が分解することで、そのものに触れることができたので、とてもいい経験になったと感じています。今回の職場を見学することで、自分の視野が広がり、将来の選択肢が一つ増え、将来についてより深く考えることができるようになったと感じています。今回の経験を高校生活の中でも活用していきたいです。